

静岡大成中学校 部活動ガイドライン

令和元年8月1日より施行

1、本校の建学の精神と部活動の位置付け

建学の精神	「時代に即応する新しい人材の育成」
部活動の位置づけ	1. 部活動を通じて、主体性・協調性・忍耐力等の「豊かな心」を育む。 2. 部活動を通じて、あいさつの励行・品位ある容姿や態度・正しい言葉遣いを身につける。

2、部活動ガイドラインの内容と成果目標

ガイドラインの内容と具体的な取り組み	1. 日頃の活動や大会等への参加を通して、目標に向かって努力する態度と実践力を養う。 2. 生徒の心身の健康管理、事故の防止及び体罰・暴言の根絶を徹底する。 3. 平日の活動時間は2時間程度、土日の活動時間は3時間程度とし、家庭学習時間と睡眠時間を確保する。 4. 週当たり2日以上以上の休養日を設ける。(原則、平日1日・土日どちらかで1日)ただし、シーズン制を導入し、大会前などで休養日を設定できない分をオフシーズンやテスト前に設定することを可とする。 ※年52週×2日≒年間100日以上以上の休養日を設定 長期休暇中の活動についても、週当たり2日のペースで休養日を設けることが望ましい。 5. 定期テスト一週間前より試験終了までは活動停止とする。 ただし、テスト前後の土日に大会がある場合には、校長の裁量により、活動時間を短縮したうえで許可する。 6. 朝練習は原則禁止とする。ただし、大会2週間前からは校長の裁量により7:30以降許可する。 7. 毎月の活動計画表を作成し生徒(保護者)に配布するとともに、共有フォルダー内にデータ保存し校内での周知を図る。
成果目標	1. 「部活動が充実している」と答える生徒が80%以上。 2. 「早寝・早起き・朝ごはん」のスローガンとともに、生徒の平日の睡眠時間を7時間確保。

静岡大成高等学校 部活動ガイドライン

令和元年8月1日より施行

1、本校の建学の精神と部活動の位置付け

建学の精神	「時代に即応する新しい人材の育成」
部活動の位置づけ	1. 部活動を通じて、主体性・協調性・忍耐力等の「豊かな心」を育む。 2. 部活動を通じて、あいさつの励行・品位ある容姿や態度・正しい言葉遣いを身につける。

2、部活動ガイドラインの内容と成果目標

ガイドラインの内容と具体的な取り組み	1. 日頃の活動や大会等への参加を通して、目標に向かって努力する態度と実践力を養う。 2. 生徒の心身の健康管理、事故の防止及び体罰・暴言の根絶を徹底する。 3. 平日の活動時間は3時間程度、土日の活動時間は4時間程度とする。 4. 平日の校舎内の活動について、平日は18時30分完全下校とする。校舎外の活動について、19時30分には活動を終え、20時完全下校とする。 5. 週当たり2日以上以上の休養日を設ける。(原則、平日1日・土日どちらかで1日)ただし、シーズン制を導入し、大会前などで休養日を設定できない分をオフシーズンやテスト前に設定することを可とする。 ※年52週×2日≒年間100日以上以上の休養日を設定 長期休暇中の活動についても、週当たり2日のペースで休養日を設けることが望ましい。 6. 定期テスト一週間前より試験終了までは活動停止とする。 ただし、テスト前後の土日に大会がある場合には、校長の裁量により、活動時間を短縮したうえで許可する。 7. 毎月の活動計画表を作成し生徒(保護者)に配布するとともに、共有フォルダー内にデータ保存し校内での周知を図る。
成果目標	1. 部活に加入している生徒が80%以上。 2. 「部活動が充実している」と答える生徒が80%以上。 3. 家庭での学習時間の平均が1日60分以上。